

建設水道

現地調査

議案審査に先立ち、関連する6カ所の現地調査を行いました。

前橋渋川バイパス

一般国道17号の前橋市から渋川市に至る区間は、地域の生活道路として、また産業・観光にとって重要な役割を果たしています。しかし、交通量は年々増加傾向にあり、利根川に架かる板東橋は激しい交通渋滞を引き起こしています。この交通渋滞解消のため、前橋市上小出町から渋川伊香保インターチェンジ付近



半田地内で建設中の前渋バイパス

までの5700m（渋川市内1170m）の新設工事が、平成21年完成を目指し進んでいます。

災害復旧工事

道路改良工事

北橋町市道の災害復旧工事現場、白井地内の道路改良事業、赤城町長井小川地内の道路改良事業、伊香保町山の手線改良工事等では、各支所の担当者から細かに説明を受けました。

小野上浄化センター

土壌被覆工法による、悪臭・病原菌の飛散等、公害防止策を調査しました。

浄化センターは無人運転が可能で、放流場の水はとも澄んでおり、安定した処理水質が得られています。

議案審査

市道の認定について私道4路線を寄付受納したことによる市道認定です。建設部では、市道の認定については、市の基準を満たしているか道路位置指定を受けているかで判断しているという説明です。



小野上浄化センター

他に土地開発公社で築造した道路1路線も寄付受納し、5路線の認定が全会一致で可決されました。

補正予算（18年度）

一般会計のうち所管事件、下水道事業特別会計、簡易水道事業特別会計の3議案とも全会一致で可決されました。

旧6市町村決算審査

当委員会に付託された決算審査は、旧6市町村の平成17年度一般会計の所管事件、下水道事業特別会計、水道事業会計、簡易水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、土地開発事業特別会計、特定環境保全

公共下水道事業特別会計の29議案です。

公共下水道事業

伊香保町公共下水道事業特別会計決算については、特定利用者に対して、不公平とも見られる下水道使用料の徴収例も見られるという質問がありました。答弁は昨年7月にメーター器が設置され、正確な賦課徴収を行っているということ。また、打ち切り決算時の滞納額資料の提示を受けての質疑では、徴収率の向上も見られ、徐々にではあるが改善されているということ。下水道事業

水道事業

伊香保町水道事業決算では、伊香保町所有ではない水源の使用料金と伊香保水源の使用料金を相殺していることについて、これでは決算書に計上されず、財政法上問題があるのではないかと指摘がなされました。答弁は今までの経過の中で行ってきたことであるが、来年度を目標に契約を行い、賃貸料を支払い、水道料金

を徴収するやり方には正しくないという事です。また西沢水源から水の供給が出来るかどうかの質疑が交わされました。

慎重審査を要するため

賛成多数により継続審査 北橋村一般会計、北橋村農業集落排水事業特別会計、北橋村公共下水道事業特別会計、新渋川市一般会計のうち付託事件、下水道事業特別会計、個別排水処理事業特別会計の各決算については、慎重審査を要するためとの提案がなされ、すべて賛成多数により継続審査となりました。

その他の各決算については認定されました。



教育福祉

平成18年度補正予算

介護予防事業

介護保険の制度改正で要支援に移行となった人は247人とのことです。

地域包括支援センターは今年4月にできたばかりですが、介護予防のケアプランは今年度600人を見込んでおり、市内の居宅支援事業所に委託して地域支援事業を行っています。

障害者相談事業始まる

障害者自立支援法が今年

4月から施行されました。10月から実施される地域生活支援事業は相談事業、地域生活支援センター、移動支援、日常生活給付、コミュニケーション事業の5



日本のまんなかモニメント

つです。相談事業はNPO法人の渋川広域障害者保健福祉事業者協議会に委託されます。

一般会計補正予算は賛成多数で可決されました。

旧6市町村決算

初のNPO委託の評価はファミリー・サポート・センターは旧渋川市では初めてNPO法人に運営委託された事業です。平成16年12月1日から開設され、平成17年度の実績は181人309件の利用がありました。

日本のまんなか

モニメント

文化行政推進事業として実施された、合併記念芸術作品日本のまんなかモニメント設置事業は、支出額が168万9100円で、製作過程の市民への公開が思うようにいかなかった等の指摘がありました。

一人一人への対応を

要保護及び要保護児童援助費の適応基準や審査会の内容についての質問が出ました。学校ではいつでも

相談を受けることができる体制がとられています。



伊香保世代間交流館

伊香保世代間交流館

この事業は学童保育に近い内容で、午後1時から5時まで開館しており、伊香保小学校全児童の90%以上が利用しています。

徳富蘆花記念文学館

徳富蘆花記念文学館は、平成2年には5万4633人の入館者がありました。平成17年には1万3612人まで減少しております。今後どのように運営していくか検討が必要です。

子持公民館の

エレベーター

旧子持村の子持公民館のエレベーター設置費について、国保基金を取り崩して



条例違反が指摘されたエレベーター

一般会計に繰り入れたことは条例違反という指摘がありました。

小児専門夜間救急を

夜間急患診療所の利用者のうち6歳未満の利用者が40.7%もあるため、小児科専門の夜間救急を検討するべきではないかという意見が出されました。

用地先行取得事業

旧渋川市の用地先行取得事業特別会計は、行幸田南原のそば畑として利用されている土地の先行取得事業です。平成20年で償還が終わり、その後は運動場建設の予定です。

介護保険特別会計

今後の少子高齢化を考えると、要介護者を増やさないうよう、健康なうちから予

防に取り組むことが重要です。そして、そのことが介護給付の抑制につながり、市民負担の増加に歯止めをかけることとなります。



そば畑として利用されている運動場建設予定地

北橋村決算関連

継続審査に

ばんどうの湯の不正会計問題に関連し、市の調査報告を待って慎重審査を行うために、関連議案を継続審査にするべきだという提案がなされました。

旧北橋村一般会計と新渋川市一般会計ほか、関連する2議案が全会一致で継続審査となりました。

その他の旧渋川市一般会計決算ほか各決算は、全会一致または賛成多数で認定されました。